

リそな経済フラッシュ

(連休前後の注目材料)

2025年 4月 24日
 リそなHD 市場企画部
 担当：苅谷

▶ 日本の連休中には、雇用統計やFOMC等の重要イベントが目白押しとなっており、各種資産のボラティリティが高くなる可能性。

	4/29 (火) 昭和の日	4/30 (水)	5/1 (木)	5/2 (金)	5/5 (月) こどもの日	5/6 (火) みどりの日振替	5/7 (火)	5/8 (木)	5/9 (金)	
アジア		豪州 CPI (3月) 中国PMI (4月)	5/1~5/5 中国休場(労働節)				中国財新PMI (4月)		日銀会合 議事要旨(3月) 日銀主な意見(4月)	毎月勤労統計 (3月) 中国 貿易収支 (4月)
	ECB CPI予想	ユーロ圏GDP (1-3月期) ドイツCPI (4月)	日銀 金融政策 決定会合 政策金利据置き などの市場予想 総裁会見に注目 欧州休場(Labour Day)	ユーロ圏CPI (4月)				スウェーデン中銀 (リクスバンク) 英国中銀 (BOE)		
欧州					英国休場(May Day)					
米国	JOLTS求人 (3月)	ADP 雇用統計 (4月)	新規失業保険 申請件数 (4/20-26)	雇用統計 (4月) 雇用者数 12.5万人 (22.8万人) 平均時給 +0.3%(+0.3%) 失業率 4.2%(4.2%) 労働市場の減速が予想されている。米政府効率化省(DOGE)による人員削減の影響に注意。	ISM 非製造業 (4月) 49.0(50.8) 50以下への低下が予想されている。これまで堅調だった非製造業の低下が嫌気される可能性が懸念される。	貿易収支 (3月)	FOMC ・政策金利の据置きが市場予想 ・パウエル議長会見が材料 ・これまで通り様子見姿勢を示すと予想 ・関税の影響や景気認識への言及に注目	新規失業保険 申請件数 (4/27-5/3)	FRB高官の発言 ウィリアムズ NY連銀総裁、クーグラー理事、バー副議長等の複数の高官が発言予定。FOMC後のスタンスに変化がないか確認。	
	消費者信頼感指数 (4月) 88.5(92.9) 関税を受けた消費者マインドの悪化が続いている可能性。	GDP速報 (1-3月期) 前期比 0.2%(2.4%) 一律関税の適用前の数値。マイナス圏の場合はネガティブサプライズに。	ISM 製造業 (4月) 47.8(49.0) 関税への懸念等を背景に製造業縮小圏(50以下)での推移が予想されている。 建設支出 (4/20-26)	製造業受注 (3月)						

※指標の下の数値は市場予想・()内は前回値を示す。
 市場予想は4/23時点のBloomberg調査

出所:各種報道、bloomberg

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。